

第 13 章 環境基本計画

第 13 章 環境基本計画

1 環境基本計画の概要

環境基本計画では、本市の目指すべき環境像「人と自然がきらめく美しいまち ふるさと“ひかり”」の実現を目指して、「自然を愛する」、「地域を愛する」、「地球を愛する」の3つを基本方針として掲げ、「自然環境保全推進プロジェクト」、「美しいまち推進プロジェクト」、「もったいない文化推進プロジェクト」、「ストップ地球温暖化推進プロジェクト」の4つを本計画の主導的役割を果たす主要事業（リーディングプロジェクト）として位置付けました。

リーディングプロジェクトには、まちづくりの基本理念である市民・事業者との「共創・協働」に加え、「学習・体験」、「環境と健康、観光、経済の融合」の視点を取り入れています。

計画の期間は、平成 20 年度（2008 年度）を初年度とし、平成 24 年度（2012 年度）を目標年度とする 5 年計画です。また、本計画の対象となる主体は、市民・事業者・市で、市民には NPO 等市民団体、光市への通勤・通学者及び滞在者を含みます。本計画の対象範囲は、自然環境、生活環境、文化環境など日常環境から、地球規模の環境まですべてを対象としています。

2 環境基本計画の進捗状況

リーディングプロジェクトの平成 20 年度の取り組みについては次のとおりです。

（1）自然環境保全推進プロジェクト

施策・事業例	内容／担当課	平成 20 年度取り組み状況
里山再生プロジェクト	里山の保全、創造、再生（繁茂している竹の伐採による里山の整備及び伐採竹の活用） ／水産林業課	里山候補地の選定や事業の内容等を検討中。なお、やまぐち森林づくり県民税の事業により、31 か所 16 ㍏の間伐の実施や竹の伐採などを実施しました。
市民と協働による森林づくり	美しい森林を次世代に引き継ぐ（針葉樹の山林に広葉樹植栽による複層林化） ／水産林業課・都市整備課	市有林の造林事業として、広葉樹（山桜）を植栽しています。平成 20 年度は束荷地区の市有林で植栽をしました。
伊藤公の森整備	協働による伊藤公の森の再生（サクラ、モミジ等の植栽や遊歩道の整備） ／水産林業課	広葉樹の植栽や遊歩道の整備を継続して実施しています。
どんぐりランドの運営	どんぐりの森を自ら育てる（市民と協働でどんぐりの採取、種まき、育苗、植栽を行い、どんぐりの森を整備） ／水産林業課	どんぐりの種とり、育苗について「どんぐり・まつぼっくり教室」を開催しました（19 家族 58 名参加）。なお、松は参加者の各家庭で育苗しています。
ひかり名木百選の選定	代表的な巨木や名木の指定 ／都市整備課	市内の巨木、珍木及び名木 125 本（群）をひかり名木百選として決定しました。

自然環境保全地域の指定	地域指定による自然環境の保全 ／都市整備課	平成 21 年 1 月、自然環境保全地域等の指定について環境審議会に諮問しました。
河川再生プロジェクト	協働による保全活動の推進 ／水産林業課・環境政策課	川に親しむ水辺の教室を島田川及び東荷川で開催しました。河川保護・保全を目的に島田川でバードウォッチングを開催、下水道未整備地区の自治会を対象に生活排水浄化対策実践活動を継続実施しました。
白砂青松 10 万本大作戦	松の植栽による海岸松林の整備 ／水産林業課	松林の維持・植栽を継続して実施しています。室積海岸（2/22 開催）では市民約 300 名の参加により 1500 本の松を植栽、虹ヶ浜海岸（2/8 開催）では市民約 400 名の参加により 2000 本の松を植栽しました。
自然海岸清掃活動	クサフグ産卵地の清掃活動 ／文化振興課	中学生リーダーやボランティアを中心にクサフグ産卵地の清掃を実施しています。平成 20 年度はごみが少なかったため職員で対応しました。
循環型農業の推進	減農薬等による環境負荷の低減 ／農業耕地課	有機肥料を使用した栽培方法や無（減）農薬栽培を促進するとともに、「エコファーマー」の認定者の増員を推進しました。（平成 20 年度末エコファーマー数 6 名（内新規認定者 1 名））
環境・健康ウォーク	歩きながら自然とふれあう ／健康増進課・環境政策課	・市民ボランティア及び環境政策課、健康増進課、体育課の協働により「ひかり環境・健康ウォーキングマップ」を作成しました。 ・「光のあるくロードウォーキングラリー」を継続して実施しています。（平成 20 年度登録累計 382 名） ・上記マップのコースで「第 1 回ひかりふるさとウォーク in 室積」を開催しました。（317 名参加）
環境マップの作成、活用	環境学習教材として活用 ／環境政策課	・「ひかり環境・健康ウォーキングマップ」を作成し、学校へ配布しました。（再掲） ・「第 1 回ひかりふるさとウォーク in 室積」を開催しました。（再掲）

（２）美しいまち推進プロジェクト

施策・事業例	内容／担当課	平成 20 年度取り組み状況
犬の飼い方教室	マナー教室 ／環境政策課	動物愛護月間に三島公民館、大和公民館で飼い主のマナーアップのための研修会を開催しました。
環境美化ボランティア・サポート事業	市民参加による地域の環境美化、保全活動の推進 ／地域づくり推進課	平成 20 年度に 2 区域を追加し、計 5 区域で実施しました。

クリーン光大作戦	市民と協働による清掃活動 ／生涯学習課	青少年の社会参加活動の促進を図りながら継続実施しました。(20,682名参加)
神籠石散策道等の整備	文化財周辺の清掃と環境整備 ／文化振興課	平成21、22年度に「石城山神籠石保存管理計画」を策定するための準備を行いました。この計画に基づき、道路や周辺環境の整備を予定。
緑花ボランティア	知識を有するボランティアの育成 ／水産林業課	年間を通じて緑化活動や研修会を継続して実施しています。(年間活動回数：9回、会員数：39名)
緑化協定制度	緑につつまれたまちづくりの推進 ／都市整備課	制度導入に向け検討中
休耕田の再生・活用	景観形成作物の栽培 ／農業耕地課・環境政策課	検討中

(3) もったいない文化推進プロジェクト

施策・事業例	内容／担当課	平成20年度取り組み状況
ふろしきの普及	ふろしき利用の拡大 ／環境政策課	・ふろしきをもったいないのシンボルとして現代的に活用・普及させるため、ふろしきセミナー「おしゃれな人のふろしき生活」を開催しました。(305名参加) ・国際交流事業での活用や一部市民向けに光市もったいないふろしきを作成しました。
「もったいない事例」の集約	もったいないの取り組みの募集とPR ／環境政策課	もったいないの事例を市民から募集し、活用する事業を開始しました。ホームページ上に「もったいない貯金箱」を設置しました。
食育の推進	食育による食品残渣の減量化 ／学校教育課	文部科学省の「子どもの健康を育む総合食育推進事業」の委託を受け、食育アンケート、給食試食会、教育フォーラムにおける食育シンポジウム等を行い、市民や児童生徒の食育への関心を深めました。
生ごみリサイクルの推進	堆肥化による生ごみの減量 ／環境事業課	生ゴミの減量化を図るため、啓発用パンフレットを作成、全戸配布しました。段ボールコンポストの普及に向けた研究を行いました。
マイバッグの普及	マイバッグ利用の拡大 ／環境事業課	レジ袋の有料化について研究を行いました。
紙製容器包装類のリサイクル	紙製容器包装類の資源化 ／環境事業課	検討中
エコショップの認定制度	店舗の認定とPR ／環境事業課	検討中
不用品交換システムの充実	市民が主体のシステムの構築 ／環境事業課	検討中

(4) ストップ地球温暖化推進プロジェクト

施策・事業例	内容／担当課	平成 20 年度取り組み状況
緑のカーテン の普及	つる性植物による日蔭の創出 ／環境政策課	市施設 3 か所、市内市立全小・中学校（16 校）に緑のカーテンを設置し、省エネや環境意識の醸成を行いました。また、小学校 6 校に出向き、苗の植え替えや地球温暖化の仕組みについての学習会を開催しました。
光熱水費削減 プログラム	学校のエネルギー使用量の削減 ／環境政策課	第 1 期：平成 20 年 10 月～21 年 9 月 第 2 期：平成 21 年 10 月～22 年 9 月 第 3 期：平成 22 年 10 月～23 年 9 月
地産地消の推進	食品輸送に係るエネルギー削減 ／環境政策課	出前講座等でフードマイレージについての説明を行いました。
菜の花 プロジェクト	採油用植物の栽培 ／環境政策課・農業耕地課	検討中
太陽光発電 システムの普及	太陽光発電システムの普及 ／環境政策課	平成 21 年度から実施できるよう調査・検討を行いました。
廃油再生事業	廃油による石油代替燃料の製造 ／環境政策課	検討中
地球温暖化対策地 域協議会	協働での温暖化防止活動推進 ／環境政策課	・市民、事業者、市が協働して地域の地球温暖化対策に取り組むため、光市地球温暖化対策地域協議会(愛称：ひかりエコシティ・ネットワーク)を 10 月 29 日に設立しました。平成 20 年度会員数は 101（事業所 19、団体 13、個人 69）。 ・一斉ノーマイカー通勤、省エネ電球買い替えキャンペーンの事業を実施。

6 月の環境月間行事として、市の環境に関連した取り組みを PR するため、本庁、あいぱーく、大和支所の 3 施設にて、環境パネル展を開催しました。